

旧、堤防の強化について県に要望している。

(建設農政部長)

○幼児英語教育の導入について

Q 境町の移住・定住化及び子育て支援事業の一環として英語教育を導入する考えはあるのか

A 境町まち・ひと・しごと創生本部会議において初等教育や幼児期における外国語教育の推進及び、グローバルな人材の育成について協議を行い、現在実施に向け検討している。

(町長)

○観光農園の導入について

Q 圏央道開通に伴う観光農園の導入について及び農産物等のブランド化の取り組みについて

A 観光農園については、現在ふれあいの里において家庭菜園を開設しているが、今後クラインガルテンのような滞在型市民農園も視野に入れ検討したい。

また、境町農商工連携委員会等の意見を参考にしながら、境町独自商品の普及やPR、ブランド化に向け取り組んでいく。

(町長)

議席12番

内海 和子 議員



○災害対策について

Q 浸水などで役場の基本機能が失われないようBCP（業務継続計画）の対策はなされているか

A 今後は非常用の電源の変更、避難高台の設置、備蓄倉庫などを国の予算で対応するよう検討している。

(総務部長)

Q 利根川の越水などのために3階以上の避難場所の確保はできたか

A 民間企業と10か所の協定をしているが、現在坂東総合高校を避難所として準備を進めている。防災ステーションの設置も国へ要望している。

(総務部長)

Q 行政区ごとの避難計画はできたのか

A 今回の水害を踏まえて見直しをし、しっかりしたものにする。ハザードマップも圏央道を追加して見直していく。

(総務部長)

Q どの時点で避難勧告を出すのか

A 国土交通省や気象庁のホットラインや広域西南消防からのファックスなどが入るので、適切な連絡ができるよう努める。

(総務部長)

Q 今後の災害時には女性のネットワークも作るべきではないか

A 今回は女性消防団員や西南医療センターの看護師さんに協力してもらった。ネットワークよりも炊き出し用の備蓄があるかなどのほうを優先しなくてはならない。

(町長)

○給食について

Q 地元産の肉や野菜の割合はどのくらいか

A 今年度で町内産12%、県内産36%で、先日も蛇池の畜産業者の豚肉を無償提供してもらった。

(教育次長)

Q アレルギー対策や宗教上対策の給食の試みはあるか

A アレルギーに対しては食品成分表を事前に提供している。ハラルフードの方へは牛乳のみであったが、12月からはご飯とパンも提供している。

(教育次長)

Q 世界各国のお料理を取り入れた日を設けてはどうか

A キーマカレーとナンやクックパッドのレシピも取り入れている。

(教育次長)

(町長)

議席10番

田山 文雄 議員

